

AKAI[®]
PROFESSIONAL

MPC KEY 61

クイックスタートガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク



このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。



このマークは、適切な電圧で機器をしようしないと、感電の恐れがあるという警告です。



このマークは、ご利用出力コネクターが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、以下の使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を必ずお読みください。
2. 注意事項を必ずお守りください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むその他の音楽機器など、熱を生じる機器の近くには置かないで下さい。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに乗せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフターサービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 主電源プラグまたはアダプターをコンセントからいつでも抜ける状態にしておいてください。
17. 本装置をアンプに接続して、ヘッドホンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
18. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
19. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。



このマークのついた製品は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に、アダプターのアース線を接地してご使用ください。

製品保証規定

1. 製品の保証期間はご購入日より一年間です。
2. ご購入時の納品書・領収書がご購入証明になります。紛失しないよう大切に保管してください。
3. 保証期間内の無償修理はお買上げの販売店にご依頼の上、購入証明をご提示ください。
4. 贈答品などでお買上げ販売店が不明な場合には、弊社カスタマーサポート部へご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
 - (イ) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買上げ後の移動や落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - (ニ) 消耗部品の交換。
 - (ホ) 購入証明のご提示がない場合。
 - (ヘ) 購入証明にご購入日および販売店名の記載がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
6. inMusic Japan は製品の使用不可能または不具合に基づく損害、また法律の定める範囲内での人身傷害を含める、いかなる二次的および間接的な損害賠償の責任を負いません。保証条件や本保証に基づき inMusic Japan が負う責任は販売国の国内でのみ有効です。本保証で定められた修理は inMusic Japan でのみ行われるものとします。
7. オークションなどを含む中古販売品・個人売買品・未開封品の二次販売等は本保証の対象外となります。
8. 修理およびその他ご不明な点につきましては、弊社カスタマーサポート部へご連絡ください。

inMusic Japan 株式会社 カスタマーサポート部

東京都港区南麻布 3-19-23 オーク南麻布ビルディング 6 階

[Web] inmusicbrands.jp

[サポート] www.inmusicbrands.jp/support/

クイックスタートガイド

はじめに

本製品の主な特徴

- 20種類以上のインストゥルメント・プラグインエンジン
- 6,000種類以上のサウンドプリセット・ライブラリ
- アフタータッチ対応セミウェイテッド・61鍵盤搭載
- 視認性に優れた静電容量方式7インチ・マルチタッチ・スクリーン搭載
- スタンドアローン MPC のワークフローを実現する 4 GB の RAM 搭載
- ベロシティ対応 RGB バックライト付ドラムパッド x16
- MPC ソフトウェア付属。MIDI シーケンス作成/オーディオレコーディング対応、プラグイン・インストゥルメントおよびオーディオフェクト各種付属

同梱品

- MPC Key 61 本体
- 電源ケーブル
- USB ケーブル
- ソフトウェア・ダウンロードカード
- クイックスタートガイド (本書)

重要：本製品の詳細な機能について詳しくは、MPC リファレンスマニュアルの最新版をご参照ください。MPC リファレンスマニュアルは、ウェブサイト akai-pro.jp にアクセスし、MPC Key 61 の製品ページからダウンロードしてください。

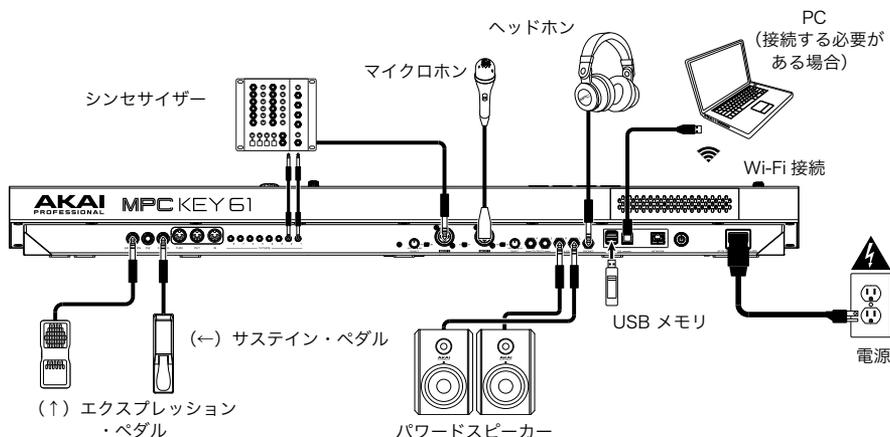
サポート

この製品に関する最新情報（ドキュメンテーション、技術仕様、システム要件、互換性情報など）および製品登録については、akai-pro.jp をご覧ください。

その他の製品サポートについては、akai-pro.jp/support をご覧ください。

接続例

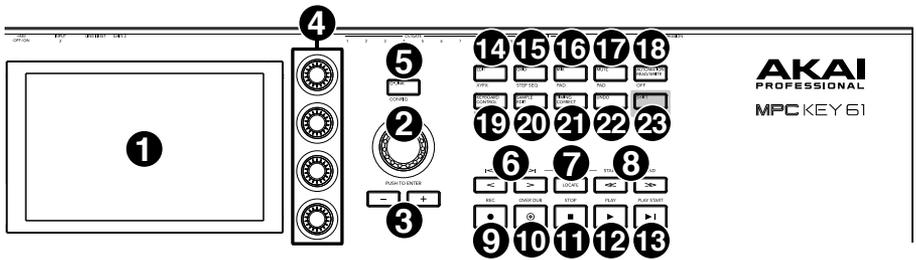
はじめに > 同梱品 に表記のないものは別売です。



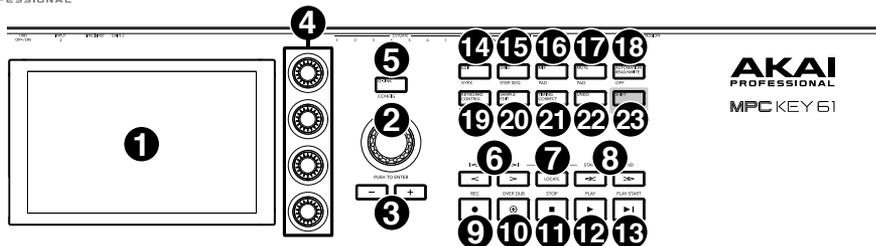
オーディオと MIDI が MPC Key 61 の様々な機能を通してどのようにルーティングされるかについて詳しくは、[付録 > シグナルフロー](#)の項目を図をご覧ください。

機能

トップパネル



- ディスプレイ**：操作中の機能に関連する情報を表示するフルカラー・マルチタッチディスプレイです。ディスプレイをタッチし、ハードウェアのボタンやノブ、ダイヤルなどを操作して本製品の様々な機能をコントロールします。基本的な機能の使用方法については、**操作**の項目をご参照ください。
- データダイヤル**：このダイヤルではメニューオプション内のスクロールや、ディスプレイ上で選択されたフィールドのパラメータ値の調整を行うことができます。ダイヤルを押すと、**Enter** ボタンとしても機能します。
- (-/+)** ボタン：これらのボタンを押すと、ディスプレイ上で選択したフィールドの値が増減します。
- Q-Link ノブ**：様々なパラメーターや設定を調整するタッチセンサー式ノブです。各ノブでコントロールできるパラメーターは、一度に 1 列までです。後述の **Q-Link ボタン** の 4 つのライトの点灯は、現在、どの Q-Link ノブが選択されているかを示します。**Q-Link ボタン** を押すと、使用する Q-Link ノブを変更することができます。
- Q-Link ボタン**：このボタンを押す毎に、パラメーターのコントロールに使用する **Q-Link ノブ** を選択することができます。
SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、Q-Link の設定画面に移行します。再度 SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、メイン画面に移行します。
- (</>) ボタン / (Event |</>) ボタン**：これらボタンのいずれかを押す毎に、オーディオポインターを 1 Step ずつ左右に動かすことができます。
LOCATE ボタン を押しながらこれらボタンのいずれかを押すと、シーケンスグリッド上のオーディオポインターを前後のイベントまで移動することができます。
- LOCATE ボタン**：このボタンを押すと、LOCATE 画面に移行します。LOCATE 画面では、指定したプロジェクトの特定の位置にジャンプすることができます。
また、このボタンを使用し **(</>) ボタン / (Event |</>) ボタン** のサブ機能を使用することもできます。上記 7 番をご覧ください。
- (<</>>) ボタン / (Start/End) ボタン**：これらボタンのいずれかを押す毎に、オーディオポインターを 1 Bar ずつ左右に動かすことができます。
LOCATE ボタン を押しながらこれらボタンのいずれかを押すと、オーディオポインターをシーケンスグリッドのスタートポイントまたはエンドポイントまで移動させることができます。



9. **REC/RECALL ボタン**：このボタンを押すとシーケンスのレコーディングが待機状態になり、**PLAY ボタン**もしくは**PLAY START ボタン**を押すとレコーディングが開始します。この方法のレコーディングでは、選択中のシーケンスは上書きされます。その点、**Overdub** ではレコーディング中/再生中のシーケンスを重ねてレコーディングして行くことができます。**Overdub** レコーディングを行うことができるのは、レコーディング中/再生中のシーケンスがシーケンスの開始位置に戻った2周目からです。

SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、レコーディングが無効になっている際に演奏した MIDI ノートイベントを「Recall」し、現在のシーケンスに挿入することができます。

10. **OVERDUB ボタン**：このボタンを押すと、前述の OVERDUB レコーディングを行うことができます。OVERDUB レコーディングは、レコーディング中および開始前に有効化することができます。

11. **STOP / RETURN ボタン**：このボタンを押すと再生が停止します。ダブルクリックするとすべてのサウンドを即座に停止します。

SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、再生を停止し、再生ヘッドをループの開始位置に戻すことができます。

12. **PLAY ボタン**：このボタンを押すと、オーディオポインターの現在の位置からオーディオを再生開始します。

13. **PLAY START ボタン**：このボタンを押すと、シーケンスが開始位置から再生されます。

14. **EDIT/XYFX ボタン**：このボタンを押すと PROGRAM EDIT モードが開きます。ここで表示される編集画面では、プログラム内のすべてのパラメーターを調節することができます。

SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、XYFX モードが開きます。このモードでは、タッチスクリーンを XY パッドとして使用し、任意のエフェクトのパラメーターをコントロールすることができます。このモードを使用すれば、クリエイティブな演奏やオートメーションの作成が可能になります。

15. **GRID/STEP SEQ ボタン**：このボタンを押すと GRID VIEW モードが開きます。このモードでは、プロジェクト内のシーケンスの各トラックのノートイベントとそのベロシティを表示・編集することができます。

SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、STEP SEQUENCER モードが開きます。このモードでは、従来の MPC のようにパッドを「ステップボタン」として使用したシーケンスの作成や編集が可能になります。

16. **MIX/PAD ボタン**：このボタンを押すと TRACK MIXER 画面が開きます。この画面では、トラック、プログラム、リターン、サブミックス、マスターのレベル/ステレオパンなどを調整することができます。

SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、PAD MIXER 画面が開きます。この画面では、プログラムのレベル、ステレオパン、ルーティング、エフェクトを調節することができます。

17. **MUTE/PAD ボタン**：このボタンを押すと TRACK MUTE モードが開きます。このモードでは、シーケンスのトラックのミュートや、各トラックのミュートグループ設定を行うことができます。

SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、PAD MUTE モードが開きます。このモードでは、プログラム内のパッドのミュートや、各パッドのミュートグループ設定を行うことができます。

18. **AUTOMATION READ/WRITE/OFF ボタン**：このボタンを押すと、GLOBAL AUTOMATION 設定の **READ** と **WRITE** を切り替えることができます。

SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、GLOBAL AUTOMATION の ON/OFF を切り替えることができます。

19. **KEYBOARD CONTROL/MIDI CONTROL ボタン**：このボタンを押すと、KEYBOARD CONTROL メニュー画面が開きます。このメニュー画面では、ベロシティレスポンス、ルーティング、MIDI アサイン、レンジなど、キーボードとホイールのユーザー設定を行うことができます。

SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、MIDI コントロールモードが開きます。このモードでは、本製品を MIDI コントローラーとして使用する設定や、ハードウェアのボタンやノブ、ダイヤルなどの操作から送信される MIDI メッセージのユーザー設定を行うことができます。

20. **SAMPLE EDIT/SAMPLER ボタン**：このボタンを押すと、SAMPLE EDIT モードが開きます。このモードでは、様々な機能や方法を駆使したサンプルの編集を行うことができます。

SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、SAMPLER 画面が開きます。SAMPLER では、プロジェクトで使用するオーディオサンプルをレコーディングすることができます。

21. **TIMING CORRECT/ON/OFF ボタン**：このボタンを押すと、TIMING CORRECT 画面が開きます。TIMING CORRECT では、シーケンス内のイベントにクオンタイズをかけるための様々な設定を行うことができます。

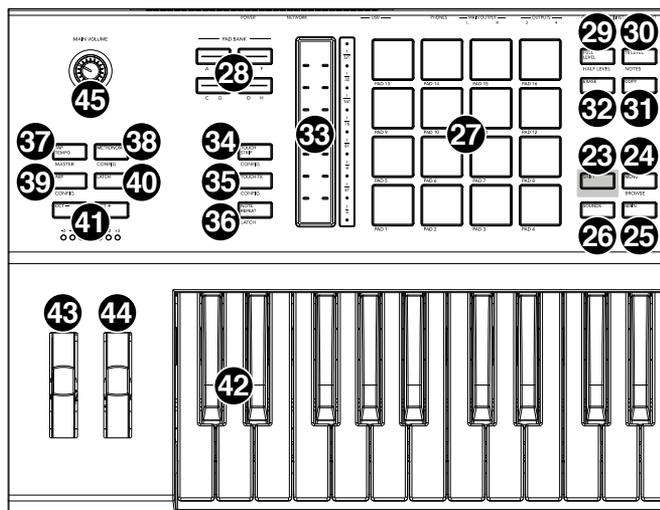
SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、TIMING CORRECT の ON/OFF を切り替えることができます。

22. **UNDO/REDO ボタン**：このボタンを押すと、1 つ前の操作を取り消す (UNDO) ことができます。

SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、1 度 UNDO した操作を元に戻す (REDO) ことができます。

23. **SHIFT ボタン**：このボタンを押しながら各機能のボタンを押すと、それぞれのサブ機能を実行することができます。サブ機能の名称は、各機能のボタンに白字で印字されています。

注意：本製品には **SHIFT ボタン** が 2 つあります。次のページでご紹介する **SHIFT ボタン** は、ドラムパッドのすぐ右にあります。



23. **SHIFT ボタン**：このボタンを押しながら各機能のボタンを押すと、それぞれのサブ機能を実行することができます。サブ機能の名称は、各機能のボタンに白字で印字されています。
24. **MENU/BROWSE ボタン**：このボタンを押すと、MODE メニュー画面が開きます。このメニューでは、様々なモードやビューをタップして開くことができます。
SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、BROWSER 画面が開きます。BROWSER では、プログラム、サンプル、シーケンスなどを検索して選択することができます。
25. **MAIN/TRACK ボタン**：このボタンを押すと、MAIN MODE 画面が開きます。
SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、TRACK VIEW MODE 画面が開きます。TRACK VIEW MODE では、シーケンス内の各トラックの設定などの詳細が表示されます。キーレンジの設定もここで行うことができます。
26. **SOUNDS/FAVORITES ボタン**：このボタンを押すと、SOUNDS MODE 画面が開きます。SOUNDS MODE は、内蔵インストゥルメントやプラグインのブラウズができます。
SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、FAVORITES (お気に入り) 画面が開きます。FAVORITES にお気に入りのインストゥルメントやプラグインを設定しておくと、この画面から即座にロードすることができます。
27. **ドラムパッド**：ドラムやサンプルなどのサウンドをトリガーするドラムパッドです。ベロシティ対応で非常に反応が良く、直感的に演奏することができます。パッドのバックライトは、使用する機能に応じて異なる色で点灯します。バックライトの色は、ユーザー設定を行うことが可能です。
28. **PAD BANK ボタン**：これらのボタンを押すと、パッドバンクが A~D の間で切り替わります。SHIFT ボタンを押しながらこれらのボタンを押すと、パッドバンクが E~H の間で切り替わります。パッドバンク E~H への切替は、PAD BANK ボタンのダブルクリックで行うことも可能です。
29. **FULL LEVEL/HALF LEVEL ボタン**：このボタンを押すと、FULL LEVEL 機能の ON/OFF を切り替えることができます。FULL LEVEL 機能を ON にしてパッドを叩くと、叩いた強さに関わらず、フルレベルの音量 (127) でサンプルが鳴る設定となります。

SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、**HALF LEVEL** 機能の ON/OFF を切り替えることができます。**HALF LEVEL** 機能を ON にしてパッドを叩くと、叩いた強さに関わらず、ハーフレベルの音量 (64) でサンプルが鳴る設定となります。

30. **16 LEVEL/NOTES ボタン**：このボタンを押すと、ドラムパッドの **16 LEVEL** 機能の ON/OFF を切り替えることができます。この機能を ON にすると、最後に叩かれたパッドが一時的に全 16 パッドにコピーされます。どのパッドでも元のパッドと同じサンプルを鳴らせる状態になりますが、パッド番号が増加するにつれて (パッドを叩く強さに関係なく) パラメーターが一定の値で増加する設定となります。例えば、**16 LEVEL** 機能で **VELOCITY** (音量) パラメーターを設定すると、パッド 1 を叩いた時は最小の音量、パッド 16 を叩いた時は最大の音量でサンプルを鳴らせるようになります。

SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、ドラムパッドの **NOTES MODE** 機能の ON/OFF を切り替えることができます。この機能を ON にすると、パッドを使って音階、和音、コード進行などを演奏することができます (どのモードでも使用可能)。ドラムパッドの設定は **PAD PERFORM** 画面で編集することができます。

31. **ERASE ボタン**：シーケンスの再生中にこのボタンを押しながら、パッドやキーを押すと、現在の再生位置のパッドやキーのノートイベントを削除することができます。このボタンを使用すれば、シーケンスの再生を停止することなく、素早くノートイベントを削除することができます。再生が停止中にこのボタンを押すと **ERASE** 画面が表示されます。この画面では、ノートやオートメーションなどのシーケンスデータをシーケンスから消去することができます。

32. **COPY/DELETE ボタン**：このボタンを押すと、**CLIP** もしくは **DRUM** プログラム内のパッドをコピー&ペーストすることができます。**FROM PAD** フィールドが選択されている状態でコピー元となるパッドを叩いて選択し、すべてのパッドの **TO PAD** グラフィックが選択されたら、ペーストするコピー先のパッドを叩いて選択します。複数のコピー先パッドを選択することも、異なるパッドバンクのパッドを選択することも可能です。**DO IT** をタップするとコピー&ペーストが完了し、**CANCEL** をタップするとキャンセルされて前の画面に戻ります。

SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、パッド内のサンプルを削除できます。

33. **タッチストリップ**：タッチストリップを操作すると表現力豊かな演奏が可能になります。ノートリピート、ピッチベンド、モジュレーションなどの機能をアサインしてコントロールすることができます。

34. **TOUCH STRIP/CONFIG ボタン**：このボタンを押す毎に、タッチストリップのモードを切り替えて行くことができます。このボタンを長押しすると、ディスプレイにすべてのタッチストリップ・モードが表示されるので、アイコンをタップしてモードを選択することができます。

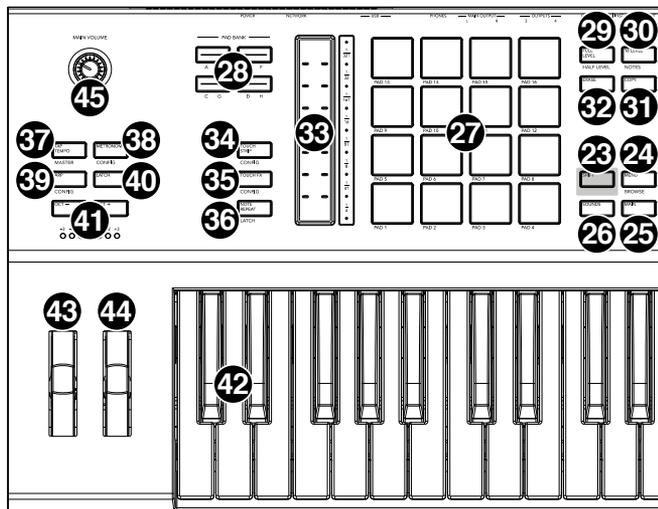
SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、タッチストリップの詳細設定画面が開きます。

35. **TOUCH FX/CONFIG ボタン**：このボタンを押すと、タッチストリップで **TOUCH FX** というエフェクトのパラメーターを操作できるようになります。このボタンを長押しすると、ディスプレイにすべての **TOUCH FX** が表示されるので、アイコンをタップしてエフェクトを選択することができます。

SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、**TOUCH FX** の詳細設定画面が開きます。このボタンをダブルクリックして同じ画面を開くことも可能です。

36. **NOTE REPEAT/LATCH ボタン**：このボタンを押しながらドラムパッドを押さえると、パッドのサンプルがリピート再生されます (ノートリピート)。リピート再生の速度は、設定されているテンポ (BPM) と **TIMING CORRECT** の設定に基づいたものになります。

SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、ノートリピート機能がラッチ（固定）されます。ラッチ時には、NOTE REPEAT ボタンを押し続けなくてもお好きなパッドを押さえるだけでノートリピート再生ができます。ラッチを OFF にするには、もう一度 NOTE REPEAT ボタンを押します。



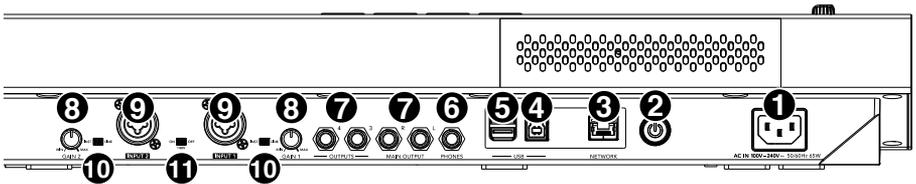
- 37. TAP TEMPO/MASTER ボタン**：このボタンを押すと、お好きなテンポでこのボタンを数回押すと、新しいテンポ (BPM) が入力されます。このボタンを長押しすると、テンポ設定画面が表示されます。この画面では**データダイヤル**でテンポを設定することができます。
- SHIFT** ボタンを押しながらこのボタンを押すと、シーケンスの再生がシーケンスに設定されたテンポに従うか（ボタンの文字が**白く**点灯した状態になります）マスターテンポに従うか（ボタンの文字が**赤く**点灯した状態になります）を選択することができます。
- 38. METRONOME/CONFIG ボタン**：このボタンを押すと、メトロノームの ON/OFF を切り替えることができます。
- SHIFT** ボタンを押しながらこのボタンを押すと、メトロノームの詳細設定画面が開きます。このボタンを長押しして同じ画面を開くことも可能です。
- 39. ARP/CONFIG ボタン**：このボタンを押すと、内蔵アルペジエーターの ON/OFF を切り替えることができます。アルペジオの再生スピードは現在設定されているテンポと TIME DIVISION の設定に従ったものとなります。
- SHIFT** ボタンを押しながらこのボタンを押すと、アルペジエーターの詳細設定画面が開きます。このボタンを長押しして同じ画面を開くことも可能です。
- 40. LATCH ボタン**：このボタンを押すと、アルペジエーターのラッチ（固定）の ON/OFF を切り替えることができます。ラッチ時には、鍵盤を押さえ続けなくても、お好きな鍵盤を一度押すだけでアルペジオが鳴り続けます。
- 41. Oct (-) /Oct (+) ボタン**：これらのボタンのいずれかを押す毎に、鍵盤のオクターブレンジを上下に1オクターブずつシフトすることができます。現在のオクターブレンジは、この2つのボタン下に印字された数字と、その下のランプの点灯している位置で確認することができます。
- SHIFT** ボタンをこれらボタンのいずれかを押し、鍵盤のオクターブレンジを上下に1セミトーン（半音）ずつシフトすることができます。

これらのボタンを両方押ししながら好きな鍵盤を押すと、押した鍵盤の位置によりオクターブレンジを上下にシフトすることができます。この操作を行う際は、C3(左から3つ目の)の鍵盤がオクターブレンジの「0」の位置となっています。

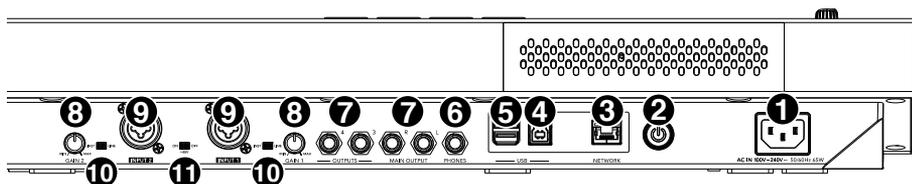
これらのボタンを両方押すと、オクターブシフトがリセットされ、オクターブレンジがデフォルトの「0」の位置に戻ります。

42. **鍵盤**：アフタータッチ/ペロシティ対応セミウェイテッド・61 鍵盤です。MIDI が MPC Key 61 の様々な機能を通してどのようにルーティングされるかについて詳しくは、[付録 > シグナルフロー](#)の項目を図をご覧ください。
43. **ピッチベンド・ホイール**：このホイールを操作すれば、鍵盤で弾いた音にピッチベンド効果を加えることができます。この操作を駆使すれば、例えばギター風のリフなど、通常の鍵盤演奏では得られないフレーズを演奏することができます。
44. **モジュレーション・ホイール**：このホイールを操作すれば、演奏中の音にパリエーションを加えることができます。このタイプのリアルタイム・コントローラーは、もともとアコースティック楽器の演奏者が行うようなビブラート s などを電子キーボードで表現するために導入されたものです。
45. **MAIN VOLUME ノブ**：このノブを回すと、出力とヘッドホン出力の音量を調整することができます。

リアパネル



1. **電源入力 (AC IN)**：付属の電源ケーブルをここに接続します。
2. **電源ボタン**：本製品電源の ON/OFF を切り替えます。
3. **LAN ポート (NETWORK 端子)**：通常の有線 LAN ケーブルで、Ableton Link やその他の対応機器と本製品を接続します。詳しくは、MPC リファレンスマニュアルの最新版をご参照ください。
注意：Ableton Link は、Wi-Fi を介した接続も可能です。詳しくは、MPC リファレンスマニュアルの最新版をご参照ください。
4. **USB-B ポート**：付属の USB ケーブルで PC と本製品を接続し、MIDI およびオーディオデータの送受信を行います。
5. **USB-A ポート**：USB メモリを接続し、本製品に直接ファイルデータをロードすることができます。USB クラス・コンプライアント対応 MIDI デバイスを接続することも可能です。
6. **ヘッドホン端子 (PHONES/6.35 mm)**：ステレオ標準プラグヘッドホンを接続する出力端子です。
7. **出力端子 (6.35 mm)**：標準 6.35 mm ケーブル (バランス/TRS) で本製品とモニタリングスピーカーやミキサーなどを接続します。MAIN OUTPUT の R と L は、OUTPUTS の 1 と 2 と同意義です。
8. **GAIN ノブ 1 & 2**：リアパネルの INPUT 1 または INPUT 2 から入力される信号のゲインを調整するためのノブです。このノブを高く設定すると、信号が歪むことがありますのでご注意ください。

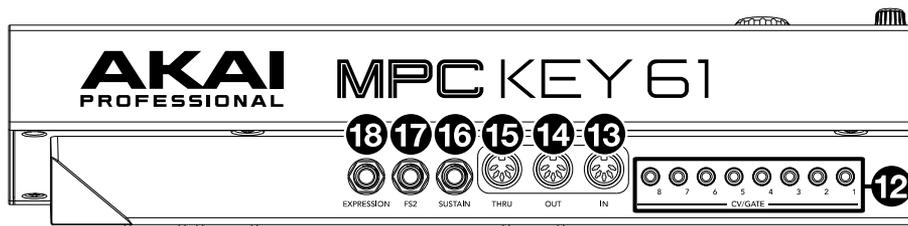


9. INPUT 1 & 2 (XLR/6.35 mm) : 標準キャノンコネクタ (XLR ケーブル) もしくは標準 6.35 mm ケーブル (TRS) で本製品とマイクロホン/ミキサー/シンセサイザーなどのオーディオを接続します。6.35 mm ケーブル接続時は、マイクプリアンプが無効になるので、INST/LINE スイッチでインピーダンスを設定することができます。

INPUT 1 & 2 から入力される信号のゲインは、GAIN ノブ 1 または 2 で個別に調節することができます。

10. INST/LINE スイッチ : INPUT 1 & 2 に 6.35 mm ケーブルを接続する際には、このスイッチでオーディオソースの LINE レベル/インストゥルメントレベルを切り替えます。

11. ファンタム電源スイッチ (+48V) : 標準キャノンコネクタ (XLR ケーブル) と INPUT 1 または INPUT 2 接続時にこのスイッチでファンタム電源の ON/OFF を切り替えます。ON にすると、INPUT 1 & 2 両方の入力に +48V のファンタム電源が供給されます。ダイナミックマイクロホンの多くはファンタム電源を必要としませんが、コンデンサーマイクロホンの多くでは必要となります。ファンタム電源の必要性は、ご使用のマイクの説明書をご参照ください。



12. CV/GATE 出力 (3.5 mm, TS) : 外部シンセやシーケンサーに CV/GATE 信号を送る出力です。標準の 3.5 mm ケーブル (TS) を使用し、1 つの出力につき 1 系統の CV/Gate 信号を送信します。

13. MIDI IN : 標準 5 ピン MIDI ケーブルで、本製品と MIDI キーボードやパッドコントローラーなどの外部 MIDI デバイスの出力端子を接続します。

14. MIDI OUT : 標準 5 ピン MIDI ケーブルで、本製品とシンセサイザーやドラムマシンなどの外部 MIDI デバイスの入力端子を接続します。

15. MIDI THRU : 標準 5 ピン MIDI ケーブルで、本製品とシンセサイザーやドラムマシンなどの外部 MIDI デバイスの入力端子を接続します。本製品の MIDI IN への入力はこの MIDI THRU から出力されます。

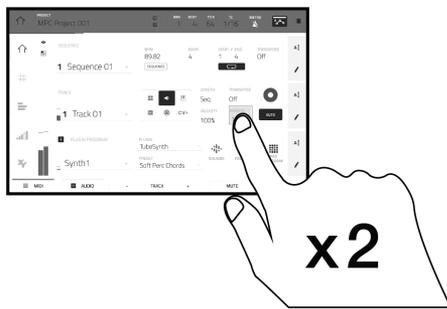
16. SUSTAIN 端子 (6.35 mm, TRS) : 別売のサステインペダル (アンラッチ式) を接続する入力端子です。サステインペダルを使用すれば、鍵盤を押さ続けなくてもペダルを踏んでいる間に一度押した鍵盤の音を伸ばすことができます。

17. FS2 (6.35 mm, TRS) : 別売のフットスイッチまたはフットペダル (6.35 mm/TRS) を接続する入力端子です。

18. EXPRESSION 端子 (6.35 mm, TRS) : 別売のエクスペッション・ペダルを接続する入力端子です。エクスペッション・ペダルを使用すれば、より表現豊かな演奏が可能になります。

操作

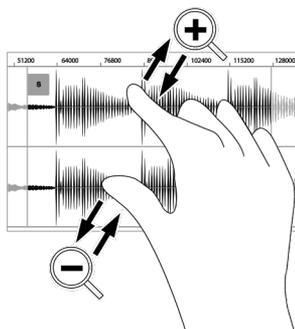
ディスプレイを使用する



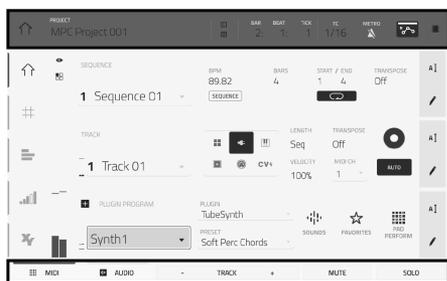
ディスプレイのボタンやオプションをタップして選択します。

データダイヤルや-/+ボタンを使用し、各設定や値などを調整します。

ディスプレイのボタンをダブルタップし、更に詳細な設定オプションを開きます。設定オプションにより、設定可能な値を入力する数字のキーボードが（データダイヤルや-/+ボタンの代わりに）表示されることがあります。ディスプレイ左上の矢印をタップすると、1つ前の画面に戻ることができます。



波形などを拡大/縮小表示するには、ディスプレイを2本の指でタッチした状態で図のように指を拡げたり、縮めたりしてください。



ディスプレイ上部にはツールバーが表示されます。ツールバーには現在のトラック/シーケンス/オーディオポインターの位置などの情報が表示されます。これらの項目は、タップすると選択することができます。

ディスプレイ下部には、現在表示されている画面で使用できる様々なボタンが表示されます。これらのボタンはタップして使用することができます。

ディスプレイ左上の矢印が、ボタンの無い余白の部分をタップすると、1つ前の画面に戻ることができます。

サウンドの選択

内蔵インストゥルメントを使用する

1. 本製品の電源を ON にし、DEMO 画面で **EMPTY PROJECT** ボタンを押し、新規プロジェクトを立ち上げます。Tracks 1~8 には、自動的にプラグインプログラムが追加されます。
2. **Sounds** ボタンを押すと、Instruments メニュー画面が表示されます。ディスプレイで **MAIN** モード画面表示中に **Sounds** アイコンをタップしても Instruments メニュー画面を開くことができます。
3. Instruments メニュー画面では、MPC Key 61 で利用可能なプラグインのリストが表示されます。プラグイン名をタップすると、選択したプラグインのプリセットカテゴリが開き、カテゴリ名をタップすると、そのカテゴリのプリセットが表示されます。
1つ前のページに戻るには、ディスプレイ左上の矢印 (**←アイコン**) をタップします。
4. プリセット名をタップすると、そのプリセットをトラックに読み込むことができます。また、ディスプレイ下部の矢印で前後のプリセットに移動することができます。

Instruments メニュー画面のホームページに戻るには、ディスプレイ左上の **X アイコン** をタップします。

MAIN モード画面に戻るには、**MAIN** ボタンを押します。

サウンドの編集

選択したプラグインのプリセットを編集する

1. Instruments 画面表示中に、ディスプレイ下部の **EDIT INSTRUMENT** ボタンをタップして **PROGRAM EDIT MODE** (編集モード) に切り替えると、プラグインの GUI (グラフィカル・ユーザーインターフェース) を表示することができます。また、**PROGRAM EDIT MODE** は本体右上の **EDIT** ボタンを押すことで、いつでも開くことができます。
2. ディスプレイ下部のタブをタップすると、各プラグインのパラメーターのページを表示することができます。
3. プラグインのパラメーターは、ディスプレイから直接編集することも、本体の **Q-Link ノブ** を使い、ハイライトされたパラメーターを調整することもできます。**Q-Link ノブ** でコントロールするパラメーターの列は、本体の **Q-Link ボタン** をタップして変更します。

レコーディング中にパラメーター操作のオートメーションを作成するには、ディスプレイ右上にある **AUTOMATION** アイコンをタップします。また、本体右上の **AUTOMATION READ/WRITE/OFF ボタン** でオートメーションの **READ** と **WRITE** を ON にし、切り替えることもできます。

オートメーションの **WRITE** を ON にすると、レコーディング中や再生中にパラメーターを操作した表現力豊かな演奏を保存/再生することができます。

オートメーションの **READ** を ON にすると、パラメーターを操作した演奏を再生することができます。

編集したプラグインのプリセットを保存するには、ディスプレイ上部の **SAVE DISK** アイコンをタップします。

保存したプラグインのプリセットを読み込むには、ディスプレイ上部の **フォルダーアイコン** をタップします。

シグナルフロー

オーディオ

Fig. 1: STEREO KEYGROUP VOICE x 128

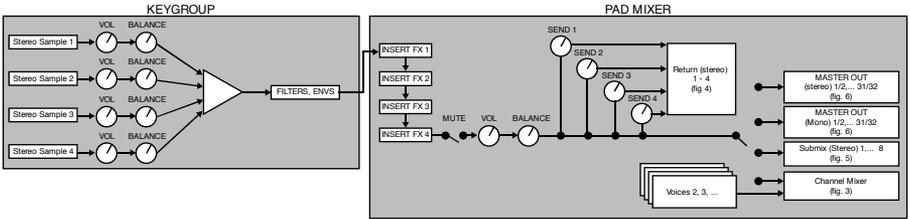


Fig. 2: STEREO DRUM VOICE x 128 PADS

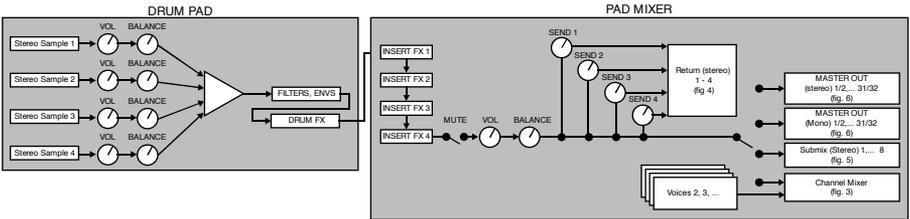


Fig. 3: CHANNEL MIXER (Programs)

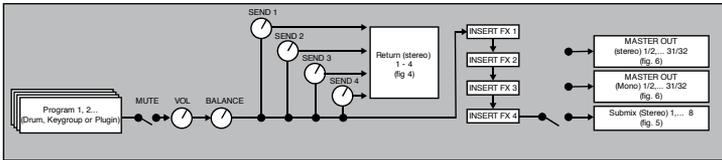


Fig. 4: RETURNS (Stereo)

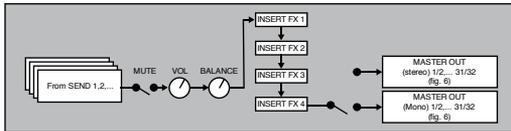


Fig. 5: SUBMIXES (Stereo)

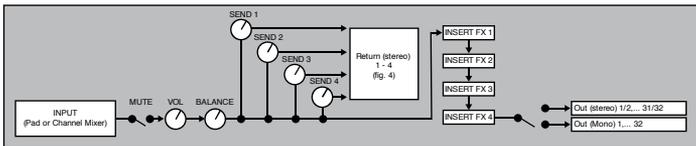


Fig. 6: MASTER OUTS (Mono and Stereo)

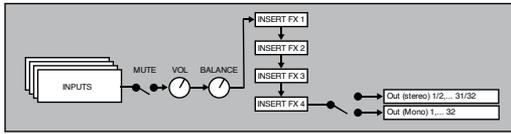


Fig. 7: AUDIO CHANNEL (Stereo)

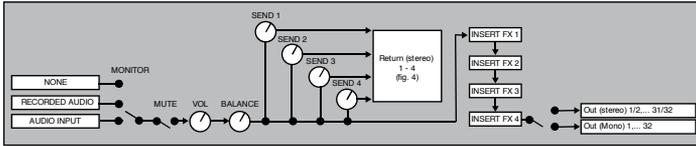
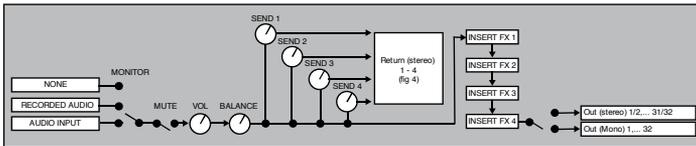
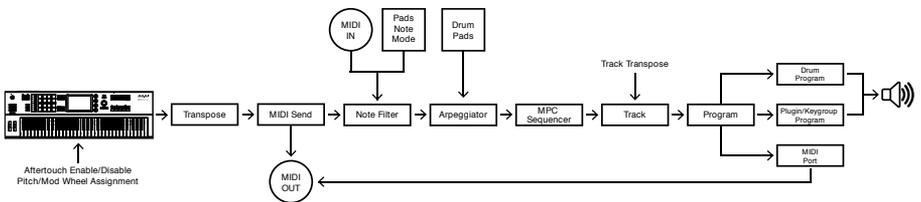


Fig. 8: SAMPLER / LOOPER (Stereo)



MIDI



付録

技術仕様

Keys	61 semi-weighted keys with aftertouch
Pads	(16) velocity- and pressure-sensitive pads, RGB-backlit (8) banks accessible via Pad Bank buttons
Knobs	(4) 360° touch-sensitive Q-Link Knobs (4) Q-Link Knob columns accessible via Q-Link button (1) 360° encoder for display navigation and selection via push
Buttons	(44) dedicated function buttons; white-, red-, or green-backlit
Touch Strip	(1) Multi-function, touch-capacitive control strip 0.8" x 4.4" / 20 x 113 mm (width x height)
Display	7" / 177 mm (diagonal) Full-color LED-backlit display with touch interface
CPU	Processor: Quad-core ARM® processor RAM: 4 GB Storage: 32 GB, expandable via SATA connections
Connections	(2) 1/4" (6.35 mm) Combo XLR/TRS inputs (1 stereo pair) (1) 1/4" (6.35 mm) TRS sustain pedal input (TS compatible) (1) 1/4" (6.35 mm) TRS footswitch pedal input (TS compatible) (1) 1/4" (6.35 mm) TRS expression pedal input (TS compatible) (4) 1/4" (6.35 mm) TRS outputs (2 stereo pairs) (1) 1/4" (6.35 mm) stereo headphone output (8) 1/8" (3.5 mm) TS mono CV/Gate outputs (1) 5-pin MIDI inputs (1) 5-pin MIDI outputs (1) 5-pin MIDI thru-port (1) Ethernet link port (2) USB Type-A ports (1) USB Type-B port (1) IEC power input
Power	100 V – 240 V AC, 50/60 Hz, 65 W
Size (W x D x H)	986 x 313 x 96.7 mm
Weight	8.1 kg

※仕様は予告なく変更になる場合がございます。

商標およびライセンス

Akai Professional および MPC は inMusic Brands, Inc.の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

Ableton は Ableton AG の商標です。

ARM は、ARM Limited（またはその子会社）の EU 又はその他の国における登録商標です。権利者の許可なく複製、転用、販売などの二次利用することは固く禁じられています。

Kensington および K & Lock ロゴは、ACCO Brands の登録商標です。

その他すべての製品名または会社名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

本製品には、ライセンスに基づき使用されている技術が含まれています。詳しくは、akaipro.com/product-legal をご覧ください。

AKAI[®]
PROFESSIONAL

akaipro.com

Manual Version 1.1